

お問い合わせ先

三原の光を観よう、 魅せよう。…… 4



瀬戸内三原
築城450年事業

「ふるさと三原」を次の世代へと伝えていく連載企画。県立広島大学三原キャンパスの学生と三原の歴史や文化を再発見していきます。



県立広島大学
理学療法学科2年
おがせきなるみ
岡崎也実さん

梅雨も見事に明け、蝉の鳴き声も岩にしみ入る取材日和。お寺巡りの地図を広げ、「小早川隆景ゆかりのお寺へ行きます。」
「三原には、こんなにお寺があるんですかー」と驚く岡崎也実さんを連れて向かったのは本町の宗光寺。
すでに夏バテ気味の広報チームをよそに、サークル活動で走っている岡崎さんは元気もりもり。
「趣きのある町並みですね。なんだか、別世界」と岡崎さん。



下から見上げるとすごい迫力です

寺院の門としては最大級の規模で、天井部分の彫刻などの細部に桃山時代を忍ばせる豪快な手法を見ることが出来ます。

ゆるい坂道を登ると、威風堂堂とした山門がお出迎え。

山門をくぐって、階段を上ると、立派な鐘楼が。瓦には小早川家の家紋が使われています。



あれが小早川家の家紋か…。

小早川隆景は、本郷の新高山城内に父毛利元就と母妙玖を弔うために匡真寺を建てました。三原築城の際、城下の西側を守る砦を兼ねて、現在の場所に移したといえます。この山門も元は新高山城の城門だったとの説もあります。
「でも、お寺の名前が違いますね。」
「城主が福島氏の時代に宗派を改め、寺名を変えたと言われています。」
宗光寺には、小早川隆景自筆の文書など、たくさん重要な文化財が所蔵されています。

☎築城450年事業推進担当室
☎0848-610450

近くで買ったおまんじゅうを食べてひと休み

「日曜日は座禅もできますよ。」
「座禅をすると隆景を感じられるかも」と岡崎さん。
お寺までの道は涼しげな風が吹いて、歩きやすかったですよ。皆さんも、散策してみてくださいはどうか。

三原浅野家第二代の墓

鎌倉時代の石塔

三原市の人口 (6月30日現在)

世帯数	44,069 世帯 (+147)
人口	98,257 人 (-727)
男	46,965 人 (-350)
女	51,292 人 (-377)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

税金などの納期 (普通徴収)

○市県民税 (第2期)	○国民健康保険税 (第2期)
○介護保険料 (第2期)	○後期高齢者医療保険料 (第2期)
納期限 8月31日(月)	
夜間収納窓口 (19時まで)	
6日(木)・13日(木)・20日(木)・27日(木)	

あ・と・が・き
終戦から70年。特集で平木さん取材させていただきました。召集令状が届いてから出征する日までのこと、最後にご主人と面会した時のようす、戦地から届いた検閲済みのはがき、最期のようなすを伝えた部隊長からの手紙、両親がいて、食べる物にも困らない平和な社会に暮らす私には、最愛の人を奪われた気持ちを計り知ることはできませんでした。当たり前ではなく、悲惨な戦争があったからこそ、あることを忘れないように感謝して生活したいと思えます。(Y)

航空機の騒音測定結果 (6月分) (Lden)

▶正広局 (本郷町善入寺正広) = 48.5 ▶本郷局 (本郷町船木川西上) = 52.4